第21号
2017/2

PVかながわ ニュースレター

NEWS

バイパスダイオード(BPD)の回路調査
世話人宅の調査を開始

本誌17号、18号で案内しましたBPD調査は、2月1日までに右集計表のように10個所の世話人宅を終了しています。既に調査の申し込みをいただいている会員宅の前に、調査研究員の練習も兼ねて、実施していた調査でした。BPDの不具合は全くなく、調査結果はすべて正常でした(右集計表参照)。

調査には、右下写真のような2台の測定器(左が発電電圧を測定するテスター、右がBPD回路の故障を検出するBPDチェッカー)が必要です。調査は、明るいうちにやる事前準備(接続箱の確認、保護パネルの取外し、箱内の開閉器確認など)に1時間、日没後の測定と後作業に30分の合計1時間半程度はかかります。接続箱はほとんどが野外に設置されており、しかも高い位置の場合が多く、照明と脚立が必要になります。端子には100V以上の高圧が出ており危険が伴いますので、2人の測定員が必須です。今までの経験では、移動も考慮すると1日1件の調査が限度でした。

2月以降は、既に申し込みをいただいている会員宅の調査を実施します。PV-Net事務局からのBPD調査案内メールが遅かったため、第1次申込期間(12月20日～1月31日)は既に過ぎていますが、神奈川の受付は行いますので、希望する方は至急申込書の提出をお願いします。申込書を提出いただいた場合でも、接続箱の設置場所により測定できないこともありますので、ご承知置きください。 (田辺記)

集計表

調査日	地域	設置年	モジュール数	BPD数	不具合BPD数
2016/10/24	横浜市	1999年	20 枚	80 個	0 個
2016/11/1	横浜市	2001年	24 枚	72 個	0 個
2016/11/8	横浜市	2012年	12 枚	36 個	0 個
2016/11/22	平塚市	2006年	21 枚	63 個	0 個
2016/11/28	小田原市	2001年	32 枚	96 個	0 個
2017/1/12	横浜市	2001年	24 枚	72 個	0 個
2017/1/12	横浜市	2011年	16 枚	48 個	0 個
2017/1/14	横浜市	1998年	27 枚	81 個	0 個
2017/1/27	川崎市	1997年	48 枚	96 個	0 個
2017/1/30	伊勢原市	1996年	36 枚	72 個	0 個
合計			260 枚	716 個	0 個

世話人から

連絡事項

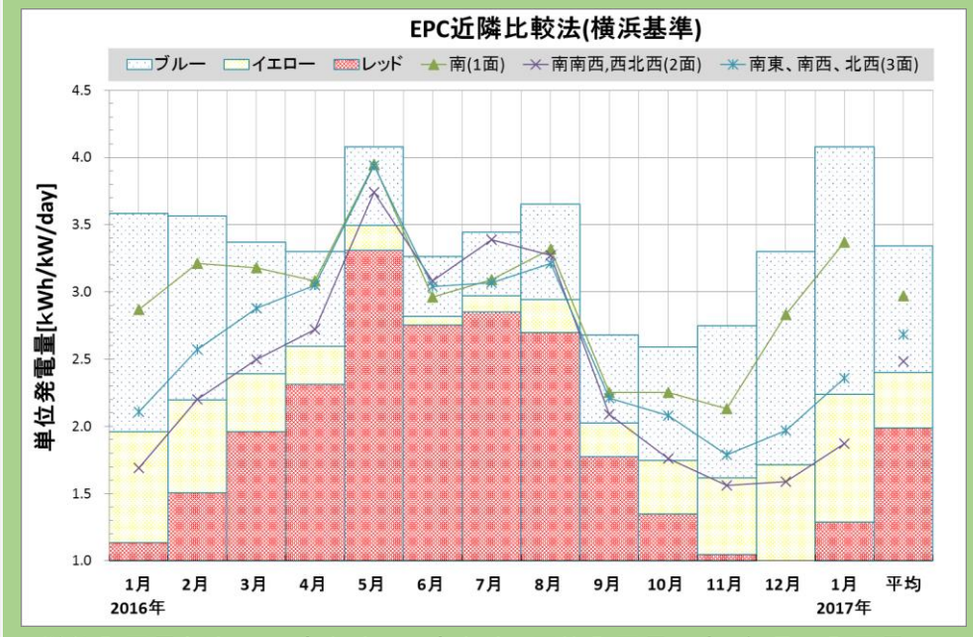
1) **BPD調査**、今後、申し込みのあった方のシステム調査に順次お伺いします。

2) **今後の予定**

2017年2月11日(土祝)
「子どもサイエンス フェスティバル藤沢大会」
会場:県立総合教育センター 亀井野庁舎

2017年3月4日(土)
「フォーラム神奈川2017」
会場:横浜市開港記念会館 2階6号室
時間:13:00(受付:12:30)
2019年最初のFIT買取り終了後を踏まえて、今年のメインテーマは「エネルギーの完全自給自足を目指す!」です。ご都合お繰り合わせの上ご参加ください。

今月の単位発電量!



横浜の日照時間は、前年の1月比で約22%増で、神奈川県内の全ての観測地点で昨年より日照時間が多くなりました。気象庁によると「上旬と下旬後半は冬型の気圧配置が続かず、寒気の南下が弱かったため、気温が顕著に高くなった日があり、月平均気温は、東・西日本で高かった。一方、中旬から下旬前半にかけては日本付近に寒気が南下し、冬型の気圧配置が強まり、広島(広島県)で15日に19cmの積雪となるなど、太平洋側でも大雪となった所があった。太平洋側では冬型の気圧配置が緩んだ時期も低気圧や前線の影響を受けにくかったため、月としては日照時間がかなり多かった。」

単位発電量とは、1kWあたり、1日あたりの平均発電量です。毎月の発電量[kWh]を設備容量[kW]と日数で割ってください。平均は直近12か月の単位発電量です。一般的に単位発電量は、ブルーの範囲になることが期待されます。北西など、やや北向きがある発電所はイエローになることもありますが、レッドになる場合は、メーカなどに相談することをお勧めします。